

私たちが過ぎて来た日々を・・・!

●浦高百年の森、77年前の新聞

同期の井口巖さんから次のメールが届きました。

◇ ◇

◆百年の森

香田さま、お世話になります。昨日百年の森に行ってきました。夏の下草刈りが無くなったせいで、うっそうとした状態でした。途中の道も倒木の影響で痛んでいて、通行止めの表示もありました。それでも山の木々はたくましく成長し続けていました。蝉時雨の中、ゆったりとしたひと時を過ごさせていただきました。我らのトチノキと、野球部のアオダモの生き生きとした写真を添付します。いつもは冬枯れの写真でしたが。井口巖 【2020/8/12、22:18】



25期のトチノキ



野球部OB会のアオダモ



トチノキの周囲

例年であれば7月第3週の土曜日が「百年の森/草刈り」で暑い一日を森に入って下草をかるのですが、今年は新型コロナ感染防止の関係で三密になるバスが運航できず中止となりました。現役浦高生も数名が参加してくれる「草刈り」ですが、その大半は我々以上の先輩たちが多く、中止はやむなしといったところです。井口さんは例年、秋の「除伐」作業前後に一人で山に登られ、その様子を知らせてくださっています。ありがたいことです。

もう一人、同期の山本勝郎さんからは、信州の実家の物置から77年前の宝物が発見されたとの報告が・・・

◇ ◇

◆戦中の信濃毎日新聞を発見

山本です。炎暑お見舞い申し上げます。先日、信州の実家の墓掃除に行ってきました。ついでに物置の片付けもしたところ、何と昭和18年2月1日の信濃毎日新聞(添付)が出てきてビックリしました。「ナチス政権獲得十周年」、「ヒ(ヒトラー) 総統烈々の宣言」、「満州国皇帝陛下」、「ゲッペルス宣伝相」…などの見出しがあり、まさに日本中が戦争の真っ只中という感じです。当時のマスコミは言論統制もあり皆こんな感じだったのでせう。終戦記念日も近く考えさせられました。山本勝郎 【2020/8/11、21:45】



この記事から日本とドイツの戦後のあり方など、同窓生の間でさまざまな話に展開していきました。そして、お互いの国のことをもっと勉強しなくてはならないということになりました。

さて、さまざまなメディアで終戦の日特集が始まりました。盆の数日間だけでなく、時間ができた私たちは、自分たちが過ぎて来た日々を振り返ることも大切なことだと思います。今日からお盆です。